

8. 世界史を楽しむ科 (2026年度) 全体テーマ：都市
(木曜日 授業予定表) 講師：同志社大学、大阪大学、岡山大学ほか

					午 前			午 後		
回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	1	6	月	①	★	①入 学 式 (大阪国際会議場)				
	2	4	16	木	1	初回ガイダンス／ 人類の拡散と海	移動と定住：モンゴロイドの「大航海時代」 —アフリカ大地溝帯、人類初期のアジアの定住遺跡	向正樹 (同志社大学) 富田暁 (岡山大学)	年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション班役 割分担任説明 班ごと自己紹介	
	3		23	木	2	海のシルクロード	モンスーンが繋ぐ世界—チャンパー、アンコール	富田暁(岡山大学)	コーダイオリエンテーション クラス自己紹介 班各担当 班長決定	
	4		7	木	3	ギリシャ・ヘレニズム	都市国家の割拠するギリシア世界、王国の割拠するヘレニズム 時代—アテネ、アレクサンドリア、ペルガモン	柴田広志 (佛敎大学)	自主活動 クラス委員長決定 各担当別会議 (代表者決 定) 遠足行先検討	
	5		14	木	4	東西ローマ世界	2つのローマと地中海世界の変容 —ローマ、コンスタンティノープル	柴田広志 (佛敎大学)	” 班別テーマ検討	
	6		21	木	5	東アジアの古代1	「中華」の誕生—洛陽、建康 (南京)	赤羽奈津子 (龍谷大学)	” 班別テーマ検討	
	7		28	木	6	★校外学習 東アジアの古代2	遣隋使はなぜ派遣されたのか —平壤、漢城、慶州、奈良	赤羽奈津子 (龍谷大学)	” 班別テーマ検討	
	8		4	木	②	★	②遠 足 (クラス単位で実施 日程変更可 1学期中に実施)			
	9	6	11	木	7	唐とシルクロード	唐帝国の本当の「強さ」とは?—長安 (西安)	猪原達生 (大阪大学)	自主活動 班別テーマ検討	
	10	11	25	木	8	東部ユーラシア世界 の展開	共存と繁栄の時代—開封	遠藤総史 (志學館大学)	③社会への参加活動 (準備活動) (活動事例研究)	
	12		2	木	9	遊牧民と中央ユーラ シア	騎馬遊牧民の誕生とその展開—統万城、平城	旗手瞳 (同志社大学)	自主活動 健康まつり説明 参加対応検討	
	13	7	9	木	10	モンゴル帝国	モンゴル帝国—大都 (北京)	旗手瞳 (同志社大学)	” フェスタのクラス発表テーマ内容検討	
	14		16	木	11	東アジアの近世	「大きな中国」か、「小さな中国」か	猪原達生 (大 阪大学)	1学期成果発表	
		8				夏 休 み				
2 学 期	15	9	17	木	12	大航海時代	ポストモンゴルのインド洋—南京、スーライト、 アグラ	向正樹 (同志社大学)	講師交流会 講師と受講生の交流；普段聞けなかった事を 聞こう	
	16		24	木	13	中世ヨーロッパとカ トリック世界	一千年のヨーロッパ・キリスト教世界 —ローマ、ヴィッテンベルク	石坂尚武 (同志社大学)	自主活動 健康まつり説明 参加対応検討	
	17		1	木	14	初期グローバル化と 近世	ペストから見る中近世—フィレンツェ	石坂尚武 (同志社大学)	” コーダイフェスタ発表準備	
	18		8	木	15	東南アジアの近世	交易の時代と「伝統」東南アジアの成立—マラッカ	遠藤総史 (志學館大学)	自主活動 コーダイフェスタ発表準備	
	19	10	14	水	④	★	④コーダイ健康まつり (大阪府立門真スポーツセンター)			
	20		22	木	16	★校外学習 堺探訪	「日本と世界が出会うまち・堺」を訪ねる	猪原達生 (大阪大学)	” コーダイフェスタ発表準備	
	21		29	木	17	イスラームの成立と 発展1	新しい世界の形成—政治的中心の移動—カイロ	堀井優 (同志社大学)	” コーダイフェスタ発表準備	
	22		12	木	18	イスラームの成立と 発展2	再編される世界—東地中海の諸商港 —カイロ	堀井優 (同志社大学)	” コーダイフェスタ発表準備	
	23	11	19	木	19	東アジア海上世界の 形成	中国の近世—海を越えて広がる城隍廟	濱島敦俊 (大阪大学)	” コーダイフェスタ発表準備仕上げ	
	24		26	木	⑤	★	⑤コーダイフェスタ (豊中市立文化芸術センター)			
	25		3	木	20	東アジアのなかの台 湾	東アジア海上世界の果実—台湾	濱島敦俊 (大阪大学)	自主活動 班別テーマ検討	
	26	12	10	木	21	東南アジアの植民地 化	宗主国は植民地に「良いこと」もした (残した) のか?—シンガポール、スラバヤ	富田暁 (岡山大学)	” 班別テーマ検討	
	27		17	木	22	自主企画講座			” 成果発表会内容検討	
					冬 休 み					
3 学 期	28		14	木	23	19世紀末の世界史に おける分岐点	①パリから始まる社会革命 (=フランス革命) ②経済革命 (=産業 革命)	杉本宗子 (神戸大学)	自主活動 成果発表会準備	
	29	1	21	木	⑥	★	⑥社会への参加活動・・・ (仮日程；1学期～3学期の間に活動日を1回設定)			
	30		28	木	24	ヨーロッパ諸国の革 命運動から誕生した 新しい政治秩序	①ヨーロッパを揺るがしたフランス革命 (パリ) ②国境変更と新しい統一の形成	杉本宗子 (神戸大学)	自主活動 成果発表会準備	
	31		4	木	25	アメリカ合衆国の誕 生	植民地から覇権国への道のり	安井倫子 (大阪大学)	” 成果発表会準備	
	32		18	木	26	グローバル化の中で	アメリカの世紀の終焉—デトロイトとフィデル フィアを事例に	安井倫子 (大阪大学)	” 成果発表会資料まとめ	
	33		25	木	27		学習成果発表会			向 正樹 (同志社大学)
	34						⑦修了式			
	35	3	4	木	⑧	★	⑧・⑨卒業旅行 (クラス単位で実施 1泊2日)			
	36		5	金	⑨					
授 業 (自主企画、成果発表会含む)					27 (講座数列1～27)					
学 習 事 業 (① ～ ⑨)					9 (講座数列①～⑨)					
合 計					36					

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。

20260302